

## アマダイ通信NO. 139

(Tile fish network letter) 2021年 コロナでも花は咲き

### 知人・友人各位

11月、12月と仕事で沖縄に飛ぶ、機内は季節外れの短パン姿の若い家族連れで一杯。普段は旅行などしない客が、「Go To」で格安で行けるので殺到。新型コロナウイルスの感染が爆発。旅好き人間は金を付け煽らなくても、動けるようになれば動く。金は困っている人の救済に回すのがいい。世界中未曾有の規模で、弱者救済の大盤振る舞い、社会連帯が進む。膨らんだ国の借金をどうするか？冷戦崩壊後の強欲資本主義の流れを逆転、大企業、富裕層へ増税、未来との連帯を進めることが出来るのか？社会的動物、類的存在へと進化してきた毛のない猿は、今一段の進化を遂げ、人間性を深められるのか？

### ◎死ぬまで男と女？・・老人ホーム部屋替え！

妻が有料老人ホーム、サニーライフ芝浦に入所し半年以上経つが、コロナ禍で面会もままならない。携帯電話でメールやSMSを送るが、パーキンソン病かレミー小体型認知症か？正体がわからないまま、妻の手の震えは治らず、返信なし。辛うじてボタンは押せるので話は出来る。🐟は相変わらず耳の調子が悪くよく聴き取れないことも。加齢とはこういうことかと思うが、意思疎通がままならない。勝手に部屋に入ったり、鍵を開けるとドアの所に立っていたりする爺ちゃんが一人。認知症の婆ちゃんがドアをドンドン叩く。ヘルパーさんに話してもらちが明かないという。施設のケアマネージャーに面会、窮状を訴えるが、現場を目撃していないので簡単には移せないという。妻が同席している訳でもなく🐟も強く押せない。帰宅後面会時にケアマネージャーから渡された妻の手紙の封を切り驚く。震える手で必死に書いた文字が🐟差し入れのメモ帳に踊る。

I 爺さん、11/18(水)夜10:00頃部屋のドアを開け入り口まで入る。直ぐナースコールでヘルパーを呼ぶ。;11/20(金)朝方4:00頃部屋に入って来た。ナースコールを押し続けたが対応が遅かった。ベットの中頃まで近づいたので身の危険を感じた。;11/23(水)9:15(就寝前)薬を飲ませに来たヘルパーと一緒に部屋の入口までついてこさせる。廊下に待たせてドアを閉めるべきではないか。;12/1(火)午後4:00頃夕食時で皆が食堂に向っている5分、10分のスキを見て入った。当日は夜10:00頃も入って来た。この日の夜勤3名。2名は知らなかった。1名ドアは最初から空いていたと。誰も鍵のかけ忘れは認めなかった。ドアを開けて入ってという事実ははっきりしているので、きちんと謝罪してほしかった。この時は、かなり長い時間ナースコールを押し続けたが対応が非常に遅かった。その直後、物音に気付いた男の入所者の方が助けに来てくれたので難をのがれた。9階では私が一番被害にあっている。これでは安心して、夜も寝られない。

0 婆さん、11/28(土)夜9:00頃入口のドアを開けようとたたいたり、大きな音で何度もノックする。;11/29(日)夜8:00~9:00頃になると殆ど毎日廊下をうろつきはじめ他の人の部屋に入る。自分の家に帰りたい気持ちが非常に強いので帰る支度を毎日やり、エレベーターの前でじっとチャンスを待つ。日々その繰り返し。とある。

これは放っておけない。「妻は夜も安心して眠れないようです。手足が不自由な妻がよくこれだけのメモを書いたと思います。その分必死なのだと思います。妻は男女二人の方と

接触しなくて済むよう、お二人の別フロアへの移動を求めています。同じフロアに男女混住していますが、老人ホームでは一般的なのでしょう？問題があるように思います。如何でしょうか？一刻も早く、妻が安心して生活出来るように、善処をお願い致します。」妻のメモを添付してケアマネージャーにあらためてお願いのメール。

施設は9階建て、問題老人二人は他の階に移動させて貰い、事なきを得る。問題爺が夜10時に侵入した時は、いつもは車椅子で移動するのに、壁伝いに歩いて入って来て、物音に気付いたホワイトナイトの爺さんが後ろから羽交い絞め、助けてくれたという。72才の妻は入所者で一番若い。その若さが問題爺を元気にさせたのか？妻から時々、洗顔フォームが切れたとか、口紅が無くなった、メイク落としをと注文が来る。その都度近所のドラッグストアやデパートに出駆け、品物探しに苦勞。老人ホームに入ったんだから、化粧しなくていいんじゃない？と●は言うが、皆してるわよ！と一蹴される。死ぬまで化け続ける積りか。いや死んでも死化粧やらがある、閻魔大王も騙されるようだ！

### ◎ベルばらの池田理代子、老いらくの恋！

漫画ベルサイユのバラで一世風靡の漫画家池田理代子が、73歳で25歳年下のバリトン歌手と「最後の恋」に落ち、熱海で同棲していると朝日新聞。恋だから終わりがあり、始まりもある。73才だからとて最後の恋とは限らない。思い込むのは勝手だが、恋に年齢は関係ない。新しい恋に落ちないとも限らない。「愛があるなら、年の差なんて」と流行り歌にもある。老いらくの恋というが、「老い楽の恋」、老いて楽しく恋が出来るのは素敵だ。老いてスキーを楽しみ、人の役に立てるのに劣らず素敵だ。

人間が男と女であるかぎり、異性を好きになり、我が身を焼き尽くすほど恋い焦がれることはある。抱き合い、唇を交わし、一つになり別れたばかりなのに、又無性に会いたくなる。逢って別れるのが辛くなれば共に棲む。その時女はどう思うのかわからないが、激しく燃えて見境がつかなくなる恋もある。恋は人を盲目にするという。激しく恋い焦がられるのは素敵だ。年輪を重ね「賢く」なり、分別が働く度合いが増え、激しい恋が恋しくなる。激しくなれない己に多少の苛立ちを覚え、静かに人知れず萌える恋もあっていい。「大人の」恋、そんな恋でも激しく燃え上がり、火の鳥にならないとも限らない。思いがけず火だるまになっても本望だ。誰にでももう一人の自分がある。

池田はかつて高級官僚と激しい恋に落ち、世間を賑わせた。辺り構わず大騒ぎ、盲目になれる彼女は幸せ。人知れず萌える恋、墓場まで持っていく恋もある。そんな恋を彼女は知ることがあるのか？元気に活躍する同学の先輩、歌手の加藤登紀子さんの夫、全共闘仲間の藤本君が逝き、トキコプランニング社長のお登紀さんの姉さんが●●に嘆く、「いい恋が出来ないといい唄がつかれないのよ」と。いい恋が出来れば思い出でいい作品が出来るのか？聞こえては来ないが新しい素敵な恋に生きるのか？池田理代子の第一歌集を求める。

### ◎桐野夏生の「夜の谷を行く」

「桐野夏生の『夜の谷を行く』を読み終わったところです。連合赤軍事件に材をとっていますが、とにかくよく書けていることに驚きました。一気に読みしてしまいました。桐野夏生は全ての資料を読みこなし、関係者一人一人の心情に思いをこらし、想像力をフルにして、古市という人物を造形したのです。あの事件にまともに正面から取り組もうとし

たこと自体、勇気のいることですね。ホントにすごい作家だと驚嘆します。」と、難病で体がどんどん不自由になっていくという、同世代の古い友人からメール。

「不自由な体でキーボードを打って頂き、ありがとうございます。多分小説はこれから先、読めるのかな？という気がしてます。最近何十年振りかで直木賞受賞作だと思うのですが、「おらはおらで・・・」という短編が読めたので、名前につられて「革命前夜」という長編を手にしたのですが、1頁も読めません。一言で言ってまどろっこしい。端的に結論が欲しい自分がいるだけ。ベルリンの壁の崩壊、東西冷戦の終結には大いに興味があり、その意義については人一倍関心があるが、小説という物語仕立てになると、途端にまどろっかしく感じ、事実が、結論が欲しいと思います。」と、無粋な男は返信。

「革命前夜」に代え、一緒に買った、一部で話題の斉藤幸平の「人新世の資本論」を読む。70年を丸ごと、足掛け3年未決で拘禁された、今はない中野刑務所の独房でようやく読み終えたマルクスの資本論と違い、数式がないので読み易い。偉人伝を卒業した小学4年生頃から学生運動に没入するまで、手当たり次第に古今東西の名作を読み漁る文学少年。小説の数ほど人生がある！読めば読むほど沢山の人生を生きることが出来、一度しかない人生を何度でも生き、人間如何に活くべきか学ぶことが出来る！ワクワク・ハラハラ・ドキドキ、筋を追い興奮、寝食を忘れた少年に還ることは出来ないのか？

マルクスと「共産党宣言」に出会い、如何に活きるべきか？発見したと思った故か？東北の寒村で真冬、綿入りの敷き布団と掛け布団の間ではなく、何故藁しべの布団敷きに潜り込んで寝るのか？銭湯もない寒村、小川の清流で水浴びできる夏と違い、凍てつき吹雪く真冬、我が家に貰い湯に来て、庇を伸ばした節穴だらけのペラペラの杉板と茅の雪囲いで囲われただけの、隙間の多いバラックの五右衛門風呂の湯船に入るのも遠慮、粉雪舞い込みきしむ洗い場で、慌てて体を洗うだけで何故帰るのか？今日食べる1升の米を何故我が家に借りに来るのか？判った気がした。行動あるのみ。24時間革命のために！

香港の「雨傘運動」、タイやミャンマーの反軍政、ロシアの反プーチンの若者とも重なる。貧困や格差、圧政がある限り立ち上がる若者がいる。100年前上海で中国の若者が密かに中国共産党を結成した如く、香港の若者も地下に潜り、巨大化・官僚化し変質した中国共産党の圧政に立ち向かうのか？明治以来自由で民主、豊かで平和な日本を求めるもう一つの維新の潮流。日本最後の革命運動が60年代の全共闘運動。アメリカの占領を機に曲りなりにも自由と民主が、経済の高度成長と反体制運動のうねりによる福祉政策の実現で豊かで格差の少ない社会が実現、日本の若者の運動が社会の先頭に立つことはなくなる。

### ◎「夜」は明けても「谷」は続く・・・目的は手段を正当化するか？人間は変れるか？

ウイグルやチベット、香港、タイ、ミャンマー、ロシアを見るまでもなく、古今東西の国家権力は警察、検察、裁判所、刑務所、そして軍隊という暴力で守られ、法の名の下に国民を強制する。既成権力を打破、反対勢力が権力を握るためには既存の暴力の無力化を含め、対抗する暴力を如何に組織するか問題となる。権力は鉄砲から生まれる（毛沢東）と言っても、短絡的に少数でも蜂起を！と主張する者から、先ず大衆を組織し、警察や軍隊を包囲し無力化、無血革命を主張する者まで様々。固い権力の壁を前に、先鋭的に武装蜂起を図り失敗、追い詰められ悲惨な末路を辿ったのが、連合赤軍か？

一国での革命成功後、マルクスが共産党宣言で説く「能力に応じて働き、働きに応じて

取る」共産主義の初期の段階から、如何にして「能力に応じて働き、必要に応じて取る」共産主義の段階に至るのか？一国社会主義として実現可能なのか？世界革命によって可能になるのか？マルクスの書にはなく、レーニンも語らず。一国で権力奪取後も革命は続く！毛沢東は「永続革命」としての「文化大革命」と「世界の農村が世界の都市を包囲する」という世界革命戦略を打出し、解を出す。労働生産性を上げ生産力を増やし国民所得を増大、共に豊かになるために！資源の浪費を抑え、必要に応じ所得を分け合うためにも、資本主義の下で過度に刺激され野放図に膨らんだ欲望を冷やし、他人のために働くことを喜びとする新たな社会主義的人間像が必要だ！「己の欲するところから従えども矩を超えず」（論語）、2500年前孔子が70才にして獲得した人間性を、如何にして全ての国民、全人類のものにするか？それが永続革命としての「文化大革命」であり、「魂を変える革命」であった。夜が明けても続く谷底の道に差す陽光の如く●には思われたが、カンボジャではポール・ポトが「変わらない者は抹殺する」と極端化、連合赤軍の構図も似たものか？目的は正しくとも、そのための手段が全て許される訳ではない。

冷戦体制が崩壊経済のグローバル化が進み、世界中の富が一部の富裕層に集中、デジタル化がそれを加速、中間層が解体、格差が拡大、成長も鈍化、金利もマイナスに沈む。資本主義の終焉が語られポスト資本主義が論じられる。デジタル化は他方で仕事を要素に分解、単純化・効率化し生産性を上げる。成果は起業家、資本家が総取りするが消費には回らず、需要は拡大しない強欲資本主義。働く者が団結、成果をあまねく分配することで需要を喚起、食べるために働く時間を減らし、やりたいことをやる。そのことで他人の役に立つ、創造的な仕事をする時間を増やし、疎外もないポスト資本主義は不可能か？

軍隊が自らの利権、既得権のためにクーデターを繰り返すタイやミャンマー。トランプが笛を吹いても踊らないアメリカの軍隊。究極の暴力、軍隊が政治的中立を守る国々では、平和的な権力の移行が可能なのか？谷底から這い上れば、陽光が燦々と降り注ぐ沃野が広がるのか！毛のない猿は類的存在としてどこまで進化でき、人間性を深化させ得るのか？

### ◎クレー爺、湯沢高原で10分5キロのダウンヒル！

小5の孫娘と正月、久し振り湯沢高原で滑る。標高1170mの大峰山々頂から湯沢の街中の山麓駅まで標高差800m余の上級コースを一気にダウンヒル。ガーラ湯沢の2キロ半の下山コースの2倍、全長5キロを10分、時速30kmで一気呵成は壮快。お気に入りの宝台樹の馬の背のダウンヒルは1キロ半。斜度は何度か？直線距離で幾らか？三角比の大学入試問題が懐かしい。時にその先のコースが視界から消え、白い雪面の先に青い空しか見えない。断崖絶壁に飛込むスリル。麓近く林道は狭くつづら折れ、ポーターが立ち往生コースを塞ぐ。小さいターンで狭い路肩を抜ける。綺麗なパラレルとは行かないが、板を平行にしたり、八の字にしたり、アクセルとブレーキを交互に踏み、孫娘も必死に付いてくる。

抜けるような青空の下、真っ白な越後の山々が鋭く、時に丸く天に迫り、群青の樹林を縫う魚野川が、遥か小諸なる古城の畔を流れ来る梓川と合体、大河信濃となるべく大きく蛇行。八股の大蛇（和子）は穰な田園を成し、豊穰の大地は白い綿布団の下、耕作の春を待つ。親方のバチで打たれて獅子舞の孤児（シゴ）が歩いた街道のそこかしこ、黒く固まる集落を結ぶ車と、白い大地を切り裂き瞬速で直線に駆け抜ける新幹線だけが、人の営みを教える。天と地と人の織り成すロマンの大パノラマは、浮世の疲れを癒してくれる。

水上町、奥利根のホームゲレンデ宝台樹スキー場で、通産OB、同学の後輩加藤君と楽しむ予定が、学生時代のアルバイト仲間、乗り換え案内のジョルダンの佐藤社長が湯沢で滑るならテレワーク中の軽井沢から新幹線で1時間なので、朝移動すること。東京からの時間、交通費は宝台樹と余り変わらない。中野屋や新橋亭など名店で極上の蕎麦と名酒を楽しむことも出来る。🐙のシーズン8回目、チーム🐙の初滑りは急遽湯沢高原に変更。NHKの朝の連ドラを視終え晴海の我が家を、四駆のリッターカー、トヨタのルーミーの新車で飛び出し、本郷で加藤君を拾う。11時過ぎ新幹線高架下の町営駐車場に車を入れ、スキーを担ぎ、靴をガシャガシャさせ、ゴンドラ乗場へ。3300円のシニア午後券は11時45分発売。4200円の日券は勿体ない。900円もあれば冷酒を1杯飲れる。佐藤君とはゴンドラ山頂駅から少し上がったレストランで12時待合せ予定。絶品蕎麦、美酒の誘惑に負け、新橋亭に入る約束破り。新橋亭初体験の加藤君、腰の強い蕎麦と天婦羅に美味しいを連発。生ビール一杯ずつと鶴齢純米1合を二人で分け合い、舐める。

ゴンドラ山麓駅直近、新橋亭の美味しい蕎麦と天婦羅、越後の銘酒、一气呵成の5キロのロングダウンヒル、黄緑の稲妻と化し、青い背景を切り裂き、白い斜面を滑り降りるスピードとスリル、ダイナミズムの誘惑に勝てないクレール爺3人。シニア午後券3300円で山頂から5キロ、10分のダウンヒルを4時半のコース閉鎖まで5本も滑走、片道1200円のゴンドラで5回昇り、リフトで全斜面を数回、1万円分くらい楽しんだお得感。山頂駅の雲の上カフェ、越後獅子の末裔か？可愛い日替わりの若いママの出す食後のコーヒー、笹団子と温かいお茶のおやつ、白いパノラマの寛ぎもいい。湯沢高原にはまる。雪ある限り、命ある限り、雪上の野外スポーツを楽しみ、足腰を鍛え、リフレッシュしたい。

## 🐙と孫娘の「デラックス」ベトナム4日間(19.12.28~31 旅物語)

### ① 孫娘と2度目？のホーチミンへ

朝焼けが綺麗な師走の土曜日、誰に似たのか物好き、世話好き、人好きの小4の孫娘とJTBで「旅物語」しようと、好奇心に翼つけベトナムはホーチミンに向かう。ベトジェットの出発は8時55分、2時間前の6時55分成田空港集合とJTBはいうがきつい。6時20分京成上野発、7時5分成田空港着のスカイライナーのチケットを前日買い、5時45分に娘のマンションのロビーで孫娘と合流、通りに出てタクシーを拾い、銀座から上野まで高速、スカイライナーには楽勝。駅のコンビニで買ったレモンパンがメイの朝御飯。スカイライナーは日暮里から満席。チケット買って良かったと思うも、ベトジェットの到着が遅れ10時発。道中読む本を持って来てるか聞くと、持って来てないという。学童本コーナーで「スイッチ」②~④、「世界一クラブ」という小学中級からと銘打つ、角川つばさ文庫の小学学園ロマン4冊。小学4年生くらいから志賀直哉の「暗夜行路」や佐多稲子の「女の一生」、サガンの「体の中を風が吹く」など、大人の小説をハラハラドキドキ読んでいた身には少し物足りないが、活字を読むのが大事、先ず関心のある所からと我慢。興味を他にも向けようと「やばい日本史」、「やばい世界史」も潜り込ませる。

早く本を読める所に行きたい、孫娘は急かす。9連休の初日、出国客で手荷物検査場は長蛇の列だが、出国審査は顔認証で機械化され早い。メイは搭乗口前の椅子に腰掛け読書三昧。旅の葉では初日は朝、昼、夕食ともなし。機内食もない。2日目、3日目も朝食はあるが昼、夕食はない。2日目の夕食は夕食付の水上劇のオプションで、3日目の昼は昼食付

ミト一のメコン川クルーズで確保。3日目の夕食は現地オプションの夕食付ワールドオブハイネケンで確保すればいい。2日目の昼食をどうするか？ナイナイ尽しで何が「デラックス」ベトナム4日間！てんこ盛り全部込みの、トラピクスやクラブツーリズムの感覚からすると詐欺。オプションツアーを3つも申し込んでも食べられない昼食がある。3月の韓国旅物語のホテルも酷かった。もう「旅物語」なんかするもんか！ベトジェットのカウンターで確かめると、機内で飲食物の販売はあるが24時間前までにネットで申込み必要。慌てて弁当とビールを買いに走るが、免税店は沢山ある割に弁当は売っていない。ようやく羽田にもある売店ブルースカイで、助六寿司と唐揚げ、卵焼き入りのおむすび弁当、肉系がいいメイのリクエストで肉と卵のサンド二人前、ビールショート缶と日本酒小瓶を買う。

窓際の席を確保するが下界は白い雲の絨毯。メイは小学版学園小説に夢中。飽きるとスマホと任天堂のスイッチでゲーム。●は前日の日経、更に当日の朝日新聞と活字を追う。夏の白神素潜りツアーでも東京駅と秋田駅の本屋で本を買う。3月の韓国旅物語でも成田空港で本を買う。いつまで一緒に旅が出来るか？買ってやる本がどう変わるか？買ってやる必要がなくなり、道中読みたい本は自分で持って来るようになるか？読む活字がなくなると時間が無駄に流れて逝く感じで無性に寂しくなる。そんな感じになることがあるだろうか？11時くらいに機内販売が始まる。値段付の食事メニューがあるので、機内でも買えそうな感じ。メイは助六寿司を選び、●はオカズ付おむすび弁当でビールと清酒150ccを楽しむ。日本時間4時頃にもう一度機内販売。成田で買ったサンドイッチの夕食。

LCC(格安航空機)で機内にはテレビもない。どこを飛んでいるのか？何時頃着くのかも判らない。メイが「旅の葉」を見て、時差2時間の表記を見つける。「葉」には8時55分成田発で13時55分、ホーチミン着とある。時差2時間で7時間の所要時間。遅れて10時半過ぎに離陸したから、5時半過ぎ、現地時間3時半過ぎ到着。高度を下げシートベルトをするようにアナウンス。青い海と乾季の赤茶けた山、間を白く小波が走る。小波に沿いしばらく飛ぶと霞むようにホーチミンの街が現れ無事着陸。LCC ゆえか成田でもホーチミンでもボーディングブリッジは使わず、パスで乗り降り。乾季でスコールはないが最高気温は30度超、最低気温も22度。成田の出国審査と違い入国審査に長蛇の列。

現地ガイドの李さんが出迎えたのは●とメイの二人だけ。空港から遠くない小さなホテル。メイと小さな屋外プールに。対角線に一度泳いで上がると泳ぎたくないメイ。床や壁がヌルヌルするという。暮れ泥むホテルの周辺を散歩。相変わらずバイクがスゴイ。信号待ちで停まると前の4、5列はバイク、人が多く活気、建物の建築も盛ん。狭い歩道に屋台、繋がれた犬も多い。暗くバイクと車の洪水で、道の横断もままならず。メイは不安がり帰るといって道に迷ったよう、ホテルに着かない。ガソリンスタンドでホテルのカードキーを見せて教えてもらい、どうにか辿りつく。小腹が空き持参のミニカップ麺のどん兵衛をメイに作ってやり、自分はチキンラーメンを食べる。バスタブはなく、順繰りにシャワーを浴びる。産まれたままの姿で無邪気に●の前を歩き回る孫娘も小4。娘がもうお父さんとは風呂に入らない！と言って、●を寂しがらせたのも小4。長い1日が無事終わる。

## ◎コロナ禍、どうにか自治会を引継ぎ、慰労・激励の会

2年生の田名部、橋本君、1年生の下村、桑原君の三鷹寮新旧正副委員長を招き、能代高校後輩の金子君がオーナーシェフの赤坂のスペイン料理屋、グランヴィアで久し振り慰労

と激励のリアル交流会。下村君、桑原君の新正副委員長とは初顔合わせだが、楽しめたようで何より。授業がオンラインになり、新入寮生のデータも入らず、留学生も来ない、どうなることかと思うが、三鷹寮 T シャツ作戦から、オンライン交流会に発展、8月から2月まで月例で開催、毎回学生・寮生が17、8人、OBが7、8人、都合24、5人が参加して経験を交流、親睦を深め、ネットワークづくりも進んだよう。MSCの新旧正副委員長と顔合わせ出来たのは何よりの証左。

初めての経験で、MSCの皆さんは苦労したと思うが、「艱難汝を玉にす」とも、「若い時の苦労は買ってでもしろ！」とも、いい勉強。苦労を共にする中で出来た学生時代の繋がりは、生涯に亘る。それだけを頼りに、「生涯現役」と嘯く輩もいる。

下村、桑原正副委員長の新体制で新入寮生を迎えるが、今年は去年の経験を活かし、パーカーのTシャツ作戦をやろうという話が出る。結構なこと。資金はOB会で手当て、不明な点は田名部君や橋本君に相談すればいい。月例のオンライン交流会も継続、カンパも残り、不足するようなら又、OBに寄付を募りましょう。

大人数での交流会はしばらく無理ですが、少人数なら大丈夫。時々MSCの皆さんと少人数の交流会を持ちたい。本郷に進学した皆さんには、オンライン交流会の時に事務所に2、3人来て頂いて手伝って貰う形で、リアルの交流もしたい。大学は知識やスキルを授かるだけではなく、人々が集い切磋琢磨、人間関係の処理の仕方を学び、ネットワークをつくる場でもあり、コロナ禍で欠けた部分を少しでも補うお手伝いが出来ればと思う。

### ◎1月(2020年度第6回)三鷹寮生オンライン交流会

1月16日(土)、6時半から、第6回オンライン交流会。北京第二外国語大で教鞭をとる津田量君(99年入寮、山梨・甲陵、LIII、文)が簡単な基調のお話し。寮での生活、異国で教職を得た経緯、国際結婚の要領?「モノ言えば唇寒い」厳寒の北京で生活する苦労(と言っただけでも凍結しそう。言論の自由の有難さ)、将来の抱負など、差支えない範囲で話して貰う。かつて東大正門に「造反有理」「帝大解体」と垂れ幕を掲げ、毛沢東思想万歳!文化大革命万歳!と叫んだ党派の革命青年だった🐼には、忸怩としたものが。

寮生の皆さんの食事はOB会が提供、かつぱ寿司と華屋与兵衛から選択して貰う。ネットで発注、カード決済出来るなら他のtake outも可能。今回から、学部・大学院在籍のOBにも食事を提供(カンパして頂いたOBの皆さんに多謝!)。「味は文化です」と称して、ちゃんこやどぜう、スペイン料理、中華料理を年に数回味わって頂いた時は、在学生・院生の参加があったが、食事提供を漫然と在寮生に限定していたら、学部・院生の参加が途絶える。懐に余裕がないのは同じだとあらためて痛感、方針転換。横だけでなく、縦のつながりも大事。学部生・院生も積極的に参加して、ネットワークを広げて頂きたい!

退寮生は身近なレストラン、居酒屋、スーパーなどから食事(材料も)を購入、交流会に参加。領収書やレシートを辰先輩にPDFで添付して振込先口座(出来れば手数料の安い郵貯銀行か『辰先輩の古巣で手数料が安い』三菱UFJ銀行にして頂けると嬉しい)を送信して貰う。金額の目安は寮生と同じく2千2百円にする。

OBを含め参加希望者は折り返し、幹事:辰(65年入寮)と🐼(66年入寮)事務所宛、個人データを記入したメールを返信、名簿を作成、ZoomのためのURL配布と今後の交流のために、フィードバック。交流を楽しむと同時に、コロナ禍でままならないネットワーク

作りに役立てて貰う。そのネットワークがいずれ、日本と世界の発展に役立てば何より。

参加者は横字史年（2015・文Ⅲ（2年）・岡崎）、黄瀚文（2016・総合文化研究科超域文化表象文化論コース・中国）、柴田卓巳（2016・文Ⅲ 教養・学際科学科地理・空間コース 4年・東葛飾）、田近太一（2017・理Ⅲ 医・医学科・札幌北）、Dhruv Iyer（2019・理Ⅰ 工・精密工学科・ムンバイ）、荻田俊貴（2019・理Ⅰ 工・マテリアル工学科・愛光）、高橋琉弥（2019・理Ⅰ・市立西宮）、金高青葉（2020・文Ⅱ・旭丘）、黒田光太郎（2020・理Ⅱ・愛光）、桑原秀彰（2020・文Ⅰ・札幌南）、下村信雄（2020・文Ⅰ・六甲学院）、関戸悠真（2020・理Ⅱ・仙台第一）、戸澤太陽（2020・文Ⅰ・奈良学園）、富張聡祥（2020・理Ⅰ・高崎）、平井雄基（2020・理Ⅱ・出雲）、三ヶ尻祥汰（2020・理Ⅱ・大分舞鶴）、吉田舜太郎（2020・理Ⅰ・大分上野丘）、青山絵里香（2016・文Ⅲ 文・東洋史学専修・一宮）、北條新之介（2015（院）・総合文化研究科地域文化研究専攻アジア科 中国・真岡→東北大）、津田量、久米知之（1994・文Ⅰ 法・公法学科 大学院法学政治学研究科専修コース（公法専攻）・東大寺学園）、高見邦雄（1966・理Ⅰ 中退・米子東）、（1966・文Ⅰ 法・能代）、打林國雄（1965・理Ⅰ 工・都市工学科・富山中部）、辰紘（1965・文Ⅰ 教養・教養学科国際関係論・三国丘）。

## ◎2月（第7回）三鷹寮オンライン交流会のご案内

第7回オンライン交流会は2月13日（土）夕方。基調スピーチは宮本裕之さん（2008年入寮、洛南、文科Ⅰ類、法）。三菱商事入社、華麗なる転職で、コンサルの（株）経営共創基盤に。会社派遣で2019～20年シカゴ大学MBA、2020年6月復職、プロフィールが会社案内に掲出。 <https://www.jbicig.com/team> 国内の経営コンサルから、海外投資のコンサルに活躍の場を広げる。又、イタリアからの留学生OB、Diego Martinaさん（詩人、翻訳家などマルチに活躍中）も参加。

参加者は横字史年、柴田卓巳、田近太一、菅野晃太（2018・理Ⅰ 工・システム創成学科・旭川東）、橋本涼太郎（2018・文Ⅱ 経済・大分豊府）、吉田さやか（2018・文Ⅲ 教育・教育心理学コース・広島大学附属福山）、Dhruv Iyer、荻田俊貴、高橋琉弥（2019・理Ⅰ・市立西宮）、出水小春（2020・理Ⅰ・四天王寺）、金高青葉、黒田光太郎、桑原秀彰、佐藤丈尚（2020・理Ⅰ・札幌南）、富張聡祥、三ヶ尻祥汰、弓矢基貴（2020・文Ⅱ・Lafayette High School（アメリカ ケンタッキー州））、高田夏輝（2015・文Ⅲ 工・建築学科・岡崎）、Martina Diego（2011・ローマ）、中野早希（旧姓：松澤）（2008・文Ⅱ 教養・地域文化研究学科アメリカ分科・土浦第一）、宮本洋之（洛南）、、打林國雄、辰紘、安藤誠四郎（1962・理Ⅰ・修猷館）。

## ◎結びに代えて

一縷の望みの外国製ワクチンの接種も進まず、欧米に比べ感染率が桁違いに低く、人口当たりの医療施設、医療従事者が少ない訳でもないのに医療崩壊が叫ばれ、行政や教育のデジタル化も進まない。教育立国・医薬先進国・技術大国もどこに行った？癩年の弊を正すいい機会。93年東大三鷹寮入寮の曳野君が、資源エネルギー庁電力基盤整備課長から加藤官房長官秘書官に。気がつけば4半世紀以上、三鷹寮の若い諸君と付き合ってきた。寮で学んだこと、培ったネットワークも生かし、彼らが活躍することを期待したい。再見！